

漁民への大きなはげまし

二百カイリ時代における沿岸漁業の振興策、養殖、栽培漁業の問題、漁業者と遊漁者とのトラブル等々、漁業者にとつて問題が出積しています。

林田府政実現で勢いを得た関西電力が、卑劣な手段を弄しつつ、エネルギー研究所の名にかくれて発電所建設をねらっています。

こういう時期に、府議會議員団は、火力発電所の沿岸漁業だけでなく、内水面漁業への影響の指摘、関電の水産振興事業団への三億円の不当な寄付問題、遊漁者への指導と取締りの強化等、働く漁民の立場にたつてすぐ追及しています。「府会だより」は正確に、迅速にこの様子を伝え、私達漁民への大きなはげましとなっています。

今後いっそうの発展を期待します。
京都海区漁業調整委員
芦原英雄

日米合同演習参加のアメリカ第七艦隊駆逐艦「リチャード・S・エドワーズ」の舞鶴入港に反対する申し入れの全文は、四ページに掲載しました。

風しん問題

全国的大流行の兆しをみせている風しんは、本府においても北部を中心に増勢、流行の危険がある。妊娠初期の母体が風しんに感染すると、先天性風しん症候群とよばれる心臓障害、難聴、白内障、知能障害等をもつ障害児を出産する危険が極めて高いといわれている。

二、妊婦および妊娠が予期される既婚婦人の抗体検査を、無料で大至急実施すること。

三、抗体検査、ワクチン接種を各保健所で実施すること。

四、風しんについての正しい知識と予防対策を普及するため、医師会、市町村等の協力をえて、府下全域、各地域、職場で健康教室を開催するとともに、抗体検査やワクチン接種の受け方、実施機関等につき、広報宣伝を

害虫対策

水稲にとつて新しい大害虫と云われる「イネミスゾウムシ」の京都府下へのまん延の危険が叫ばれています。

既に、現在までの調査結果によつても、昨年一部山間部で発生が確認された亀岡市域、同京都市西区、さらに今年新たに、京都市

ることは必至であり、一刻の猶予も許されない重大事態であります。府当局にあつては、こうした緊急事態にかんがみ、府下農民の危機を全面的に救済し、被害を最少限に引き止める適確な措置、および、指導、援助を徹底される様申し入れます。

一、発生状況の適確な把握とともに関係諸機関、および耕作農民にその危険性について衆知徹底する宣伝啓蒙に努めること。

一、害虫防除に要する農薬代、資材等については、農家負担とならぬよう全額、国・府(市町村)負担とすること。

風しん対策、イネミスゾウムシ大発生で申し入れ

年間三万人をこえる府下の新生児を風しん症候群から守り、婦人が安心して妊娠、出産できるよう予防と安全対策を徹底して実施することは、緊急の課題であり、府民のいのちと暮らしを守るべき知事の責務である。

わが議員団は、知事がこのための万全の措置をとられるよう次の通り強く申し入れるものである。

一、府下における風しん発生状況を正確に把握すること。

徹底しておこなうこと。
五、風しんに感染した子どもたちとの接触が多い職場に働く妊婦初期の婦人が予防休暇をとれるよう、関係機関を通じ適切な指導援助をおこなうこと。

以上

一九八一年六月十一日

日本共産党・革新共同府会議員団

議員団

団長 西山秀尚

京都府知事

林田悠紀夫殿

山科区、相楽郡南山城村、笠置町、加茂町で成虫が、長岡京市、大山崎町で食痕が確認され、府下全域への大発生の危険な様相をみせています。しかも、これは、田植後五〜十日後でないといわれ、見にくいといふこの虫の生態から推定すれば、恐るべき広範囲に被害を拡大させる恐れは歴然としています。

府下農民にとつて、相つぐ減反政策の強行と昨年の冷夏被害に加えての今回のイネミスゾウムシの大発生は、計り知れない打撃を与え

一九八一年六月四日

日本共産党・革新共同府会議員団

団長 西山秀尚

京都府知事

林田悠紀夫殿